

みんなの

# ちいきふくし

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

社協だより  
vol.46



## CONTENTS

- ひきこもり支援..... 2
- 地域ニュース from 地区社協 ..... 4
- 権利擁護センター“しえん” ..... 6
- 生活困窮支援センター..... 7
- 地域活動支援センター“ゆうゆう” ..... 8
- GO!GO!ボランティア! ..... 9
- 事業計画・予算..... 10



写真：新本地区敬老会

ひきこもり支援は社会全体の課題です

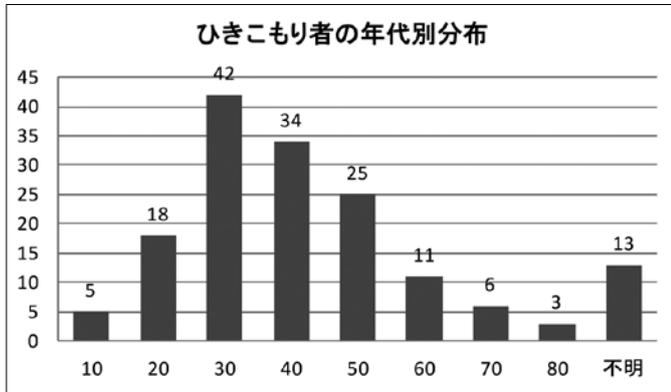
①「ひきこもり」は、家族だけの問題ではなく、地域社会全体の課題であることを共通認識すること。②「ひきこもり状態にある人」は、今後の社会を支える大切な担い手であり、人や地域、社会とつなげることの必要性を共通認識すること。③「ひきこもり状態にある人」の実態把握や状態像を明らかにすることを目的として、各地区で懇談会を開催していただいています。

この懇談会は、地区社協単位（全14地区。必要に応じて細分化しています）に分かれて、民生委員・児童委員（161名）及び福祉委員（573名）を対象と



昭和地区懇談会

# 民生委員・児童委員及び福祉委員 地区懇談会を開催しています！



池田地区懇談会



山手地区懇談会



秦地区懇談会

して、全地区での開催に向けて取り組んでいます。4月末日現在、9地区社協(12地区)で開催され、150人を超えるひきこもりの人を地域で把握していることがわかりました。

また、懇談会に参加された方から、「本人の想いを聞くことが必要」「どう関わって良いのかわからない」「どこまで踏み込んで良いのかわからない」「家族や当事者が触れてほしくない場合もある」「知っていても専門機関へつなげにくい」「もっと情報を発信してほしい」などのご意見がありました。

懇談会でのご意見や情報から、ひきこもりに関する実態を分析し、実現可能な支援施策を展開できるよう検討を進めていきます。



総社地区懇談会



常盤地区懇談会

# ハイチーズ! 阿曾地区社協



写真は、認知症サポーター養成講座を受講後、認知症サポーターの印、オレンジリングを手首に付けての記念撮影です。

阿曾地区社協では、平成27年度「赤い羽根福祉でまちづくり事業」の助成を受け、阿曾地区小地域ケア会議にて認知症サポーター養成講座を3月に開催しました。阿曾地区小地域ケア会議は、民生委員、主任児童委員、福祉委員、市社会福祉協議会、地域包括支援センター、介護保険事業所、市長寿介

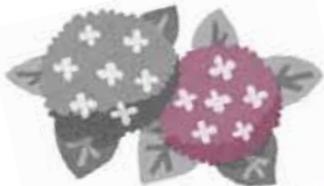


護課職員で構成されていて、阿曾分館にて隔月に開催しているものです。「認知症への理解」を深めるため市内で開業されている専門医の浅野医師に講話をお願いしたり、地区内の事業所等に何って情報収集を行ったりしています。



「認知症とは？」という改めて基本から認知症を理解するためのスライドを観ました。すでに同講座を受けた民生委員と地域包括支援センター職員有志で認知症の方への良い対応例、悪い対応例の寸劇を行い、地域におられる方へのより良い対応の仕方をみんなで考えました。寸劇を見て、「認知症の人の気持ち

を否定しない話し方をせんとおえんのじゃなあ」「同じ目の高さで話をした方がええんじゃなあ」「私もあねえな言い方されたらつれえよなあ」等の声が聞こえてきました。認知症の方を地域で支えていくには、相手の思いを尊重していくことが大事だと認識できた有意義な時間でした。今後も様々な活動を通じ、認知症への理解を深め、誰もが暮らしやすい、見守りを重視した地域づくりに努めていきたいと思えます。





# 『ふくしのまちづくり』座談会

## 昭和地区社協

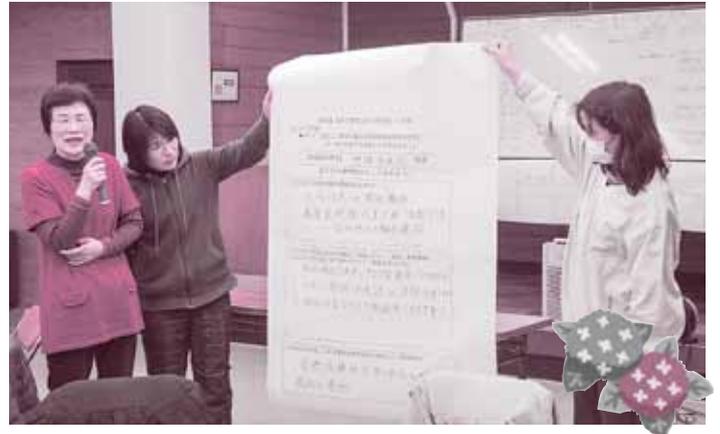


昭和地区社会福祉協議会は、2月26日(金)第6回「ふくしのまちづくり」座談会を開催しました。安心・安全な住み良い地域をつくるために平成27年度の活動報告と28年度に向けての事業計画、予算等について話し合いました。

最初に半世紀以上前の「昭和町町歌」を聞き、今の昭和にぴったりの素晴らしい歌詞に感動しました。

専門部会として①どのような福祉問題や課題があるのか? ②どのような取り組みが必要か! 実践したいか! ③事業計画の内容 ④新規事業 について活発に討議しました。

防災部会ではハザードマップの見



方と活用について研修会を開催し、防災意識を高めます。活性化部会は事業実施後の感想や感動を昭和地区の魅力として多くの人に発信します。長寿・障がい部会は「ふれあいサロン」「いきいき百歳体操」後のフォローや認知症カフェを開催しています。子育て支援部会からは「昭和暮らし」をアピールして、昭和地区を好きになってもらいたい!! 情報発信の大切さ、企業誘致、子どもと大人がふれあい・関わる機会を多く持ちたい。その他、福祉のまちの話題として ①なっちゃん市 ②地域おたすけ隊 ③昭和暮らしプロジェクトの発表があり大変盛況でした。

約半世紀以上前から常会(納税組合)としての活動が、平成23年度から秦地区社会福祉協議会のお世話で、表サロンに名前を変更し現在も続けて活動しています。

サロンは、毎月1回土曜日午後から約2時間開いています。主に茶話会としてお茶と簡単なおつまみです。会員構成は男性9人、女性10人で総勢19人ですが、毎回15~18人(最大19人)が集まります。旅行や美味しいものには目がないようです。

また、話題は広報や新聞の話題、地域包括支援センターの資料、老人クラブ活動や行事、コミュニティ活動の内容など、いろいろな話のネタで盛り上がりします。何時も和気あいあいと明るくなるよう、おもてなしの心でお世話し楽しんでいきます。



## 秦地区社協

## 表サロン



# 平成28年度法律ミニ講座

を開催します。

総社市権利擁護センター「しえん」では、今年度も市民の皆様を対象に法律を気軽に学べる「法律ミニ講座」を開催します！！講師は、権利擁護センターの山内弘美弁護士です。具体的な事例を通して生活に身近な法律を学びましょう！！

**第1回：平成28年6月23日（木）14：00～15：30**

**「離婚」～離婚手続・離婚原因～**

**第2回：平成28年7月28日（木）14：00～15：30**

**「離婚」～子どもの問題～**

**第3回：平成28年8月25日（木）14：00～15：30**

**「離婚」～財産分与・年金分割・離婚に伴う手続～**



会場は、総合福祉センター2階技能習得室です。

興味関心のあるテーマのみの参加、通年での参加の申し込みも随時受け付けておりますので、皆さまお誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

<お申し込み・お問い合わせ>

総社市権利擁護センター“しえん” 総社市中央1-1-3

TEL (0866) 92-8374 FAX (0866) 92-8284

## 連載

### 第9回

## 「交通事故の 賠償金」



総社市権利擁護センター  
“しえん”  
弁護士  
山内 弘美

今回は、交通事故の賠償金についてお話したいと思います。

交通事故の被害に遭った場合、損害は「物損」と「人損」に分けることができます。

「物損」とは、車の修理費等の車両損害、代車代、レッカー代のことです。ただし、車の修理費が車の時価より高くなると、時価が上限となります。また、物損の場合は、損害賠償により心の傷は癒えると考えられていますので、原則慰謝料は請求できません。

「人損」とは、治療費、仕事を休んで収入が減ったことによる損害（休業損害）、後遺障害や死亡により将来得られたであろう収入が得られなくなったことによる損害（逸失利益）、慰謝料のことです。慰謝料は、事故によって入通院するような怪我を負った場合は入通院の日数に応じて、後遺障害が残った場合は後遺障害等級に応じて請求できます。

保険会社は、賠償金の算定について独自の基準をもっています。特に慰謝料は、裁判での基準よりも低く設定されていますので、弁護士が代理人に就いて交渉した場合、支払われる金額が上がることもあり得ます。相手の保険会社から賠償金を提示された場合、その金額が妥当かどうか、弁護士に相談することをお勧めします。また、ご自分の保険に、弁護士費用を補償する弁護士特約が付いている場合もありますので、再度ご自分の保険契約を見直してみてください。

# 総社市生活困窮支援センター

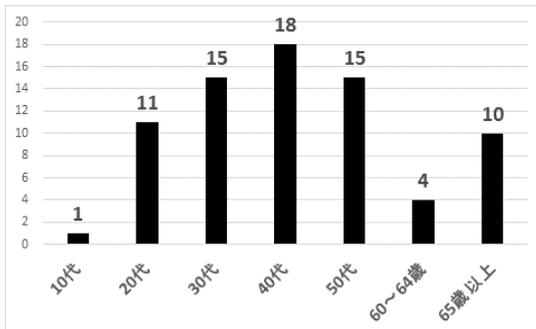


## ◆平成27年度 相談実績

### (1) 相談件数

- 実相談件数：74件
- 延相談件数：2,170件
- ※一人あたりの相談件数：29.3件

### (2) 相談者の年齢層



### (3) 主な相談内容

- 経済的に困っている
- 就職活動が上手くいかない
- 家計管理が上手くいかない
- 食べるものがない
- 滞納や債務
- 社会的孤立



平成27年度の実相談件数は、平成26年度の32件に対し、**2倍以上**となっています。

相談者は**30代~50代**の方が多く、「**経済的困窮**」、「**仕事がない**」などの課題を抱えています。

今後もみなさんのご協力をいただきながら、相談者の自立をめざし、**ひとりひとりに寄り添った支援**を実施していきたいと思ひます。

## ◆生活支援物資等の確保に関するアンケートの調査結果

### 【回答率】

- 民生委員児童委員  
141人 / 161人 (89.4%)
- 関係機関  
152団体 / 249団体 (61.0%)



～ニーズの高かった主な生活支援物資～

### 【食料品】

- お米 ○レトルト食品 ○缶詰 ○カップ麺

### 【衣類】

- 下着 ○上着 ○くつ下 ○制服 ○体操服

### 【電化製品】

- 炊飯器 ○冷蔵庫 ○洗濯機 ○電子レンジ
- ファンヒーター ○ガスコンロ

### 【日用品】

- トイレットペーパー ○布団 ○タオル

### 【衛生用品】

- おむつ ○洗剤 ○歯ブラシ ○せっけん
- 生理用品 ○シャンプー

この度のアンケートでは、民生委員児童委員や関係機関を対象に調査を実施いたしました。

みなさんが日頃の活動の中で感じるニーズなど貴重なご意見をたくさんいただき誠にありがとうございました。

今後、調査結果をセンターの取り組みに活かしていきたいと思ひます。

### 【問い合わせ先】

総社市生活困窮支援センター  
 総社市中央1-1-3 (総合福祉センター内)  
 TEL (0866) 92-8374  
 FAX (0866) 92-8284  
 MAIL shien@sojasyakyo.or.jp  
 相談受付 / 8:30~17:15 (平日のみ)





## 障がい者地域活動支援センター ゆうゆう

障がいのある方の、日中の居場所をお探しの方へ。  
ゆうゆうは、障がいのある方が  
ゆっくり過ごせるフリースペースです。

TEL : 0866-92-2566



# 新年度になり、担当職員が変わりました



## 障がい者基幹相談支援センター

障がいのことなら、何でもご相談ください。  
TEL : 0866-92-8578

## 障がい者千人雇用センター

障がいのある方で働きたい方を支援いたします。  
TEL : 0866-92-8379



# ボランティアグループ紹介

## 朗読ボランティア ～さつき会～

朗読ボランティア「さつき会」では、リクエストのあった本を中心に、平成27年度は27巻の録音図書（5冊の図書）を、市立図書館に納めています。これらの録音図書の中で、総社市に著作権があるものについては、一般の方への

貸出ができますので、みなさん一度聴いてみてはいかがでしょうか。

また、この他にも広報そうじゃや社協だより等をテープに録音し、目の不自由な方へお届けしたり、福祉施設等で活動しています。

さつき会では一緒に活動してくれる方を募集しています。

ご興味のある方は市社会福祉協議会（92-8552）までご連絡ください。



御宿かわせみ（5）蘭陵王の恋	全9巻	平岩 弓枝
御宿かわせみ（6）千春の婚礼	全7巻	平岩 弓枝
平成26年度総社市の文学	全7巻	総社市
総社市の地域誌「然」2015年春26号	全2巻	渡辺 雅浩
総社市の地域誌「然」2015年秋27号	全2巻	渡辺 雅浩

## 点訳ボランティア ～総社点訳の会～

総社点訳の会では、平成27年度は23巻の点字図書（9冊の図書）を、市立図書館に納めています。

このほかにも広報そうじゃや社協だより等を点訳し、目の不自由な方へお届けするなど活動しています。

点訳の会では一緒に活動してくれる人を募集しています。パソコン点訳も行っていますので、ご興味のある方は市社会福祉協議会（92-8552）までご連絡ください。



パソコンで点訳中・・・



印刷中・・・



完成！！！！

平成28年度

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会 事業計画

すべての住民が自分の住み慣れた地域で 自分らしく生き生きと豊かに暮らせる  
ふれあい、助けあい、支えあいのある 住民主体の福祉コミュニティの実現

誰もが住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせるノーマライゼーションの実現をめざし、「総社市に住んでよかった」と市民から声が上がるとような地域福祉を推進します。

～ 重点事業 ～

- ①地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進（14地区社協）  
◆小地域ケア会議と連携し、地域の福祉課題を明確化して地域福祉活動に取り組む
- ②福祉委員活動の推進  
◆福祉委員の資質の向上、福祉委員のきめ細かい配置
- ③ふれあいサロン活動の推進  
◆いきいき百歳体操と連携し介護予防効果を高め、全地域に設立
- ④ボランティアセンター事業の推進  
◆「災害ボランティアセンター」を速やかに設置できるよう体制を整備
- ⑤ひきこもり支援の推進（新規）  
◆ひきこもり支援等検討委員会の開催  
◆「ひきこもり」の実態把握及び支援方策の検討  
◆課題別ワーキンググループの運営
- ⑥生活支援事業の実施（新規）  
◆介護保険制度改正に伴う要支援者への生活支援サービス開発の検討

社会福祉事業区分 予算

（単位 千円）

拠点区分	収入			支出		
	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
法人運営	124,014	92,822	31,192	115,476	84,427	31,049
地域福祉	29,405	28,476	929	31,865	30,081	1,784
福祉センター	8,677	8,677	0	11,186	10,986	200
共同募金	5,750	6,150	△400	6,150	6,550	△400
資金貸付	2,965	2,965	0	3,165	3,165	0
障がい支援	43,210	39,203	4,007	44,684	41,438	3,246
権利擁護	33,135	32,200	935	34,630	33,846	784
介護保険	88,655	84,990	3,665	88,362	84,473	3,889
障害福祉サービス	31,666	25,473	6,193	28,894	23,414	5,480
介護予防	3,350	5,460	△2,110	5,992	7,559	△1,567
福祉器具貸出	610	610	0	1,033	1,087	△54
合計	371,437	327,026	44,411	371,437	327,026	44,411

◆◆平成28年度の新採用職員◆◆



在宅福祉係 訪問介護員  
正木 恵美里

生まれながらの総社っ子（人）です。住みやすく温かい町作りに努めます。



地域福祉係 福祉活動専門員  
白神 雅也

毎日、笑顔で元気よく働きたいと思っております。よろしく願いいたします。

※ご了承をいただいた方についてのみ、紙面上に寄付金額を掲載させていただいております。



種別	金額	寄付者	住所
一般寄付	5,500円	常盤小学校 児童会	三輪
	300,000円	岡本 毅(故 岡本武夫・相続人)	下倉
	66,486円	総社地区民生委員児童委員協議会 (子育てサロンわくわく)	
篤志品	竹箒 25本、熊手 40本	平田 靖志	穴粟

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載しておりません。

寄付者	住所	寄付者	住所	寄付者	住所
▽香典返し		赤木 栄太郎 亡父(靖)	清音上中島	三宅 智恵子 亡夫(利彦)	中央一丁目
佐野 博章 亡母(數子)	井尻野	栢野 雄喜人 亡妻(美與子)	久米	矢吹 斉 亡父(亨)	福井
田中 豊 亡父(貞夫)	西郡	浅沼 周平 亡母(静子)	久代	河田 康則 亡父(一男)	西阿曾
木口 佳子 亡母(茂樹)	久代	田中 尚 亡母(綾野久子)	新本	守安 武 亡母(年子)	西郡
國府 久俱 亡妻(郁子)	日羽	江口 知栄子 亡父(純夫)	清音上中島	土屋 浩一 亡父(善一)	原
岡 俊明 亡母(照子)	三須	大木 友二 亡妻(美知子)	総社二丁目	井原 勝治 亡母(萬壽美)	久代
金澤 耕史 亡母(秀子)	山田	安本 博 亡父(固)	愛知県一宮市	東 志津男 亡母(和子)	岡山市南区浦安本町
友野 茂 亡父(克巳)	地頭片山	平田 貢 亡父(通)	榎谷	河上 悦夫 亡妻(貞子)	中原
兒山 岩子 亡母(琴美)	清音柿木	村木 生久 亡父(正生)	井尻野	新谷 和正 亡母(志計子)	西郡
平田 昭夫 亡父(重夫)	見延	吉富 定美 亡夫(義章)	小寺	月本 晋二 亡父(照二)	山田
守安 一好 亡父(富男)	三輪	黒江 満智子 亡夫(崇)	宿	平田 俊一 亡父(亮一)	穴粟
坪井 章子 亡夫(敏昌)	奥坂	佐野 健二 亡父(稔)	井尻野		
文屋 茂 亡父(武)	東阿曾	新谷 清志 亡母(安子)	上林	▽篤志寄付	
中村 収介 亡父(稔)	清音柿木	三上 美佐子 亡夫(修二)	下原	池上 眞巳夫	井手

(平成28年1月21日～平成28年4月20日まで 敬称略)

事務局長



Topics

私のボランティア

私は、5年前からボランティアでペタンクの指導をしています。現在、18名の小学生が週3日ペタンクを楽しんでいます。その中に、中学校2年と小学校6年の兄妹がいます。兄は2年ほど前に神戸で首の大手術を受けました。約10時間に及ぶ手術は成功し、家族離ればなれの暮らしが始まりました。兄と母は神戸で厳しいリハビリ。妹は家事を受け持ち父と総社市の自宅での生活。妹は、寂しさをペタンクでがんばるエネルギーに変え、ペタンクの練習に打ち込みました。そして、世界ジュニアペタンク選手権大会に日本代表選手で出場するという大きな夢を叶えました。「ペタンクの神様からの贈り物」でした。

兄も、もう一度ペタンクがやりたいという夢に向かってリハビリをがんばりました。座れるようになり、立てるようになり、杖を突いて歩けるようになりました。仲間の熱い応援がありました。3月5日、手術から576日ぶりに、再びペタンクをすることができました。また、4月24日のペタンク大会に兄妹揃って出場。兄にも「ペタンクの神様からの贈り物」が届きました。

私は、この素晴らしい家族との出会いと感動に心から感謝しています。ボランティアは、私自身にかけがえのない生きがいを与えてくれます。



# サロンで 元気の出る話！

## ふれあいサロン講演会を開催しました

市内 209 か所（H 28 年 3 月時点）で実施されているふれあいサロンを対象に、3 月 9 日（水）、10 日（木）の 2 日間、同じ内容の講演会を 2 回開催しました。

講師には、ご近所福祉クリエーターの酒井保氏をお迎えしました。笑い溢れるトークで元気をいただき、ふれあいサロン活動の意義を今一度考える機会となりました。



ご近所福祉クリエーター  
酒井 保 氏

社協だより  
vol.46

6  
2016

Chi-ki Fukushi  
Soja City  
Council of  
Social welfare



講演の中では、健康長寿の秘訣は  
①社会性がある ②毎日よく動き  
③肉料理を食べること！をご教示いただきました。「実は、これは、サロンが一番効果的！皆さんすごい活動をされているのですよ！」と話してくださいました。サロン活動をする上での苦悩について、皆さんうなずかれて、酒井先生も「苦悩も無理に解決するのではなく、まずは、皆さんで集う場があることが大切」と話してくださいました。普段からサロンで活躍して下さっている皆さんがあらためてサロン活動への意欲を高めることができ、元気になっていただけたのではないかと思います。



編集発行／社会福祉法人 総社市社会福祉協議会  
〒七九一-二二三 岡山県総社市中央一-二三 総社市総合福祉センター内  
TEL: 〇八六六-九二-八五五五 メール: info@sojasyakyo.or.jp  
FAX: 〇八六六-九四-〇〇八九 ウェブ: http://www.sojasyakyo.or.jp